

平成維新東京・平成8年度(1996年7月～1997年6月)活動報告

— 7月13日「第3回総会」にて報告—

平成維新東京・副代表総務担当 杉原健児

【A】総会→第2期代表選出/会則・運営細則改定/都議選推薦基準

- (1)「第2回総会」を1996年7月14日に開催、第2期代表に江頭清昌氏が選出された。
- (2)「会則・運営細則」の改定が、1996年12月1日付で承認された。
- (3)「都議選候補者推薦基準」が、1997年2月10日の運営会議において決定された。

【B】副代表/役員/特別委員会/各区エリアマネージャー

- (1)「副代表」に、阿部悠逸・山崎康彦・治田桂四郎・杉原健児の各氏が、1996年10月4日に内定し、規約改内後決定した。その後、小枝尚氏の追加が決まった。
- (2)「役員」として、総務担当：杉原健児/政策審議担当：山崎康彦/女性担当：梶原光恵/経理担当：神村知行/組織担当：治田桂四郎/名簿担当：神村知行/会報担当：杉原健児/企画担当：山崎康彦/管理担当：佐藤鶴次郎の各氏を決めた。
- (3)「特別委員会」として、1996年12月3日「大衆運動推進特別委員会」(小枝尚委員長)「情報公開特別委員会」(治田桂四郎委員長)「行政改革等推進特別委員会」(山崎康彦委員長)が発足した。また1997年3月4日「ボランティア特別委員会」(長谷川文昭委員長)「21世紀のライフスタイルを考える特別委員会」(梶原光恵委員長)が発足した。
- (4)「各区 エリアマネージャー」に、以下の11名を確認・決定した。
1区：佐藤鶴次郎/2区：神村知行/3区：澤井正治/4区：山崎康彦/5区：治田桂四郎/6区：阿部悠逸/7区：小俣一郎/8区：大山悦男/9区：峰岸秀充/10区：仲野忠之/11区：杉原健児。

【C】運営会議/副代表会議

- (1)「運営会議」が、1996年7月2日より新宿区立リサイクルセンターにて毎月開催。
- (2)「副代表会議」が、1996年12月13日より毎月月半ばに開催されてきた。

【D】首都圏市民会議/平成維新を実現する会・全国協議会

- (1)「首都圏市民会議」が約2月に1回開催されてきた。
なお「首都圏道フォーラム21」は、上記の形に吸収・発展的に解消した。
- (2)「平成維新を実現する会・全国協議会」が年3回開催されてきた。

【E】会報：生活者通信

- (1)「月刊会報・生活者通信」A4・12頁が毎月1回発行・送付されてきた。

【F】イベント開催状況

- (1)「一日の会」ジョン万次郎・信濃町店にて、毎月1日に開催。
- (2)「いしん(14)の会」池袋焼き肉葉山にて、毎月14日に開催。
- (3)1996年9月29日「21世紀のライフスタイル・吉津耕一氏講演会」を開催。
- (4)1996年11月29日「市民による自由討論会・今回の選挙はおかしいぞ!」を開催。
- (5)1997年1月16日「第1回歴史の会・司馬遼太郎氏の著作を通じて」を開催。
- (6)1997年2月22日「21世紀のライフスタイル・あなたの為の手作りの家」を開催。
- (7)1997年3月13日「第2回歴史の会・鎌倉時代を再考証する」を開催。
- (8)1997年3月23日「情報公開市民討論会・情報公開法の早期実現に向けて」を開催。
- (9)1997年5月14日「第3回歴史の会・室町時代を再考証する」を開催。
- (10)1997年5月24日「21世紀のライフスタイル・子供の為の理想の学校」を開催。
- (11)1997年7月20日～21日「吉津耕一氏と“たもかく”の見学」を開催予定。

【G】選挙支援

- (1)「長妻昭氏」「伊藤達也氏」衆議院議員候補を「平成維新東京推薦」として全面的に応援した。
- (2)「都議選候補者」の次の4名「いづか武/林ともじ/六角年成/根本二郎の各氏」を「推薦候補」として決定した。各候補に対し全面支援するとともに、「必勝祈念の一筆」と各「5万円の激励金」を贈った。